

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
栄養教育特論		秋山 佳代	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	必修			
	資格要件				
学習目標	管理栄養士として、国民の QOL を向上させていくことが大きな役割である。栄養教育の法的根拠や食行動変容に関する踏まえ、栄養教育の計画、方法、実施、評価することができ、栄養教育の場で活用できる知識を習得する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	栄養教育の概念	栄養教育の概念・定義			
2	栄養指導・栄養教育の歴史	戦前・戦後の栄養指導・栄養教育の変遷			
3	栄養教育の目的および目標	栄養教育と QOL、食知識の理解と定着			
4	栄養教育の対象および場	ライフスタイルからみた対象の捉え方、地域保健の場			
5	栄養教育の法的根拠	栄養士法・健康増進法・地域保健法、介護保険法・学校給食法・食育基本法について			
6	食行動変容と栄養教育（1）	行動科学からみた食行動変容の機序			
7	食行動変容と栄養教育（2）	個人の態度・個人間の関係と行動変容に関する理論の応用			
8	食行動変容と栄養教育（3）	集団や社会の行動変容に関する理論の応用			
9	栄養教育のためのアセスメント	栄養アセスメント、情報収集の方法			
10	栄養教育計画	カリキュラムの立案			
11	栄養教育の方法	栄養教育方法の選択、学習形態			
12	栄養教育の実施	連携、栄養教育実習者、実施			
13	栄養教育の評価	評価の種類、デザイン、フィードバック			
14	食環境づくりにおける栄養教育	食物・情報のアクセス面での展開			
15	栄養教育の国際的動向	先進国・開発途上国における栄養教育			
参 考 書	(社) 日本栄養士養成施設協会、(社) 日本栄養士会監修、管理栄養士国家試験教科研究会編「栄養教育論」第一出版 2009				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	自主的にノートを作成し、特に重要なところは各人が積極的に勉強すること。				
評価の方法と時期	定期試験での筆記試験にて判定する。				